

第 34 回建設業経理事務士検定試験

4 級試験問題

注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の＜勘定科目群＞から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 事務用パソコンを購入し、その代金¥400,000を小切手を振り出して支払った。
- (2) 営業資金が不足したため、現金¥800,000を追加出資した。
- (3) Y社に資材置場として貸している土地の賃貸料¥100,000を同社振出しの小切手で受け取った。
- (4) 金銭の貸付先から元金¥500,000とその利息¥30,000が当店の普通預金口座に振り込まれた。
- (5) 工事が完成したので発注者に引き渡し、その代金¥500,000を現金で受け取った。
- (6) 事務員の給料¥250,000を現金で支払った。

＜勘定科目群＞

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 備品
F 土地	G 資本金	H 完成工事高	J 受取利息	K 受取地代
L 完成工事原価	M 給料	N 支払利息	Q 労務費	R 経費

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。（20点）

問1 次の文の の中に入る用語として適当と思われるものを下記の＜用語群＞から選び、その記号（ア～ソ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 企業の経営活動を記録・計算するために設けられた帳簿上の場所を 1 といい、これには標準式と 2 の2つがある。
- (2) 帳簿は、機能・働きによって主要簿と補助簿に分けられ、特に主要簿は、経営活動を記録・計算・要約するという簿記の基本手続きを遂行するうえで不可欠な帳簿であり、 3 と 4 がそれに含まれる。
- (3) 残高試算表の貸方には、収益と 5 と 6 に属する諸勘定の残高が記入される。
- (4) 工事が完成し発注者に引き渡しを行うと、同工事にかかった材料費・労務費・外注費・ 7 は、 8 勘定に振り替えられる。

＜用語群＞

ア 仕訳帳	イ 総勘定元帳	ウ 現金出納帳	エ 当座預金出納帳	オ 資産
カ 負債	キ 資本（純資産）	ク 費用	コ 損益	サ 完成工事原価
シ 勘定口座	ス 残高式	セ 経費	ソ 振替	

問2 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。期中に資本の追加元入れ及び引出しはなかったものとする。なお、当期純損失の場合は△（マイナス）の符号をつけること。

（単位：円）

年 度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失（△）
	資 産	負 債	資 本 （純資産）	資 産	負 債	資 本 （純資産）			
X	55,000	23,000	（ア）	60,000	（イ）	（ウ）	80,000	74,000	（エ）
Y	（オ）	28,000	（カ）	80,000	25,000	（キ）	90,000	（ク）	8,000
Z	78,000	（ケ）	35,000	（コ）	33,000	（サ）	（シ）	50,000	△5,000

【第3問】 関東工務店に関する次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（平成×6年6月30日）を完成しなさい。 (30点)

<資料1>

借方	勘定科目	貸方
569,000	現金	267,000
716,000	当座預金	152,000
120,000	備品	
168,000	土地	
	借入金	350,000
	資本金	520,000
	完成工事高	430,000
35,000	材料費	
29,000	労務費	
16,000	外注費	
5,000	経費	
26,000	給料	
2,000	通信費	
3,000	旅費交通費	
29,000	支払家賃	
1,000	支払利息	
1,719,000		1,719,000

<資料2> 平成×6年6月16日から30日までの取引

- 18日 営業部員の旅費¥10,000を現金で支給した。
- 〃 工事中鉄骨を購入して現場へ直送し、その代金¥80,000を現金で支払った。
- 20日 外注していた工事代金の一部¥55,000の支払いのため、小切手を振り出した。
- 23日 工事現場の事務所家賃¥17,000を現金で支払った。
- 25日 受注工事が完成したので発注者に引渡し、代金¥350,000は現金で受け取った。
- 28日 営業所の当月分電話料¥20,000が当座預金から引き落とされた。
- 30日 借入金の利息¥2,000を現金で支払った。

【第4問】 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。 (26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。